【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【公開番号】特開2006-234907(P2006-234907A)
【公開日】平成18年9月7日(2006.9.7)
【年通号数】公開・登録公報2006-035
【出願番号】特願2005-45618(P2005-45618)
【国際特許分類】
Ｇ１０Ｌ　15/28　(2006.01)
Ｇ１０Ｌ　15/22　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１０Ｌ　3/00　５６１Ｈ
Ｇ１０Ｌ　3/00　５６１Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成20年2月20日(2008.2.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
音声を受信する受信工程と、
前記受信工程で受信した音声を認識して認識結果を得る音声認識工程と、
前記認識結果を出力する認識結果出力工程と、
前記認識結果を修正する認識結果修正工程とを備えた音声認識方法において、
前記認識結果修正工程は、音声の認識結果の中に含まれる全ての正解部分を物理キーによって指定した後、認識誤りに対する言い直しを音声によって行うことを特徴とする音声認識方法。
【請求項２】
音声を受信する受信工程と、
前記受信工程で受信した音声を認識して認識結果を得る音声認識工程と、
前記認識結果を出力する認識結果出力工程と、
前記認識結果を修正する認識結果修正工程とを備えた音声認識方法において、
前記認識結果修正工程は、音声の認識結果の中に含まれる全ての誤り部分を物理キーによって指定した後、認識誤りに対する言い直しを音声によって行うことを特徴とする音声認識方法。
【請求項３】
音声を受信する受信工程と、
前記受信工程で受信した音声を認識して認識結果を得る音声認識工程と、
前記認識結果を出力する認識結果出力工程と、
前記認識結果を修正する認識結果修正工程とを備えた音声認識方法において、
前記認識結果修正工程は、音声の認識結果がそれぞれ正解であるか誤りであるかを物理キーによって指定することを特徴とする音声認識方法。
【請求項４】
音声を受信する受信工程と、
前記受信工程で受信した音声を認識して認識結果を得る音声認識工程と、
前記認識結果を出力する認識結果出力工程と、

前記認識結果を修正する認識結果修正工程とを備えた音声認識方法において、
前記認識結果修正工程は、音声の認識結果に対して誤り部分と誤りの種類を物理キーによって指定することを特徴とする音声認識方法。
【請求項５】
前記物理キーは数字キーであることを特徴とする請求項１乃至請求項４の何れか１項に記載の音声認識方法。
【請求項６】
正解もしくは誤り部分の指定は認識結果の順序として与えることを特徴とする請求項１乃至請求項４の何れか１項に記載の音声認識方法。
【請求項７】
前記誤りの種類は、置換誤り、挿入誤り、脱落誤りの３種類であることを特徴とする請求項４に記載の音声認識方法。
【請求項８】
前記誤りである結果と前記誤りの種類の指定を連続した一回の操作で同時に指定できることを特徴とする請求項４に記載の音声認識方法。
【請求項９】
前記認識結果出力工程は認識結果を音声によって出力することを特徴とする請求項１乃至請求項４の何れか１項に記載の音声認識方法。
【請求項１０】
前記認識結果出力工程は、認識単位の区切りが分かるような聴覚信号を含めて認識結果を音声によって出力することを特徴とする請求項９に記載の音声認識方法。
【請求項１１】
前記認識結果出力工程は認識単位ごとに認識結果を順じ出力し、
前記認識結果修正工程は、認識単位ごとに正解であるか誤りであるかを物理キーによって指定することを特徴とする請求項３に記載の音声認識方法。
【請求項１２】
物理キーを用いた指定の後、認識誤りに対する言い直しを音声によって行うことを特徴とする請求項３又は請求項４に記載の音声認識方法。
【請求項１３】
認識結果修正工程の結果に基づいて、言い直し音声の認識に制約をかける認識制約追加工程を更に備えることを特徴とする請求項１、請求項２、請求項１１、請求項１２の何れか１項に記載の音声認識方法。
【請求項１４】
請求項１乃至請求項１３の何れか１項に記載の音声認識方法をコンピュータに実行させるための制御プログラム。
【請求項１５】
音声を受信する受信手段と、
受信した音声を認識して認識結果を得る音声認識手段と、
前記認識結果を出力する認識結果出力手段と、
前記認識結果を修正する認識結果修正手段とを備えた音声認識方法において、前記認識結果修正手段は、音声の認識結果の中に含まれる全ての正解部分を物理キーによって指定した後、認識誤りに対する言い直しを音声によって行うことを特徴とする音声認識装置。
【請求項１６】
音声を受信する受信手段と、
受信した音声を認識して認識結果を得る音声認識手段と、
前記認識結果を出力する認識結果出力手段と、
前記認識結果を修正する認識結果修正手段とを備えた音声認識方法において、
前記認識結果修正手段は、音声の認識結果の中に含まれる全ての誤り部分を物理キーによって指定した後、認識誤りに対する言い直しを音声によって行うことを特徴とする音声認識装置。

【請求項１７】
音声を受信する受信手段と、
受信した音声を認識して認識結果を得る音声認識手段と、
前記認識結果を出力する認識結果出力手段と、
前記認識結果を修正する認識結果修正手段とを備えた音声認識方法において、
前記認識結果修正手段は、音声の認識結果がそれぞれ正解であるか誤りであるかを物理キーによって指定することを特徴とする音声認識装置。
【請求項１８】
音声を受信する受信手段と、
受信した音声を認識して認識結果を得る音声認識手段と、
前記認識結果を出力する認識結果出力手段と、
前記認識結果を修正する認識結果修正手段とを備えた音声認識方法において、
前記認識結果修正手段は、音声の認識結果に対して誤り部分と誤りの種類を物理キーによって指定することを特徴とする音声認識装置。
【請求項１９】
前記物理キーは数字キーであることを特徴とする請求項１５乃至請求項１８の何れか１項に記載の音声認識装置。
【請求項２０】
前記認識結果修正手段は、正解もしくは誤り部分の指定を認識結果の順序として与えることを特徴とする請求項１５乃至請求項１８の何れか１項に記載の音声認識装置。
【請求項２１】
前記認識結果修正手段の結果に基づいて、言い直し音声の認識に制約をかける認識制約追加手段を更に備えることを特徴とする請求項１５又は請求項１６に記載の音声認識装置。